平成 28 年度第 2 回スポーツ推進審議会会議録

【日　　時】　平成29年３月２日（木）
【時　　間】　18時30分～20時10分
【会　　場】　市役所４階会議室
【出席委員】　中野貴博、中嶋信啓、中島　茂、土松達哉、近藤京子、山田さとみ、稲垣　愛
　　足立博子
【事 務 局】　樋口部長、宮地課長、加藤、髙木
【議　　題】　１．平成 29 年度生涯スポーツの基本方針と重点施策（案）
　　２．平成 29 年度スポーツ事業計画（案）
　　３．スポーツサポーター登録制度（案）
　　４．多治見市トップアスリート強化選手指定について

◆１８時３０分開会
（事務局）
平成 28 年度第 2 回スポーツ推進審議会を開催します。
進行は中野会長に依頼します。
（会長）
本日は、議題が４つあります。時間が限られますので慎重審議をお願いします。
それでは、議題１について事務局から説明をお願いします。

議題１．平成 29 年度生涯スポーツの基本方針と重点施策（案）
事務局説明

（会長）
指定管理者が交代しました。総合体育館、笠原体育館等について、管理上のご意見等はありますか。
（委員）
星ケ台テニスコート横のトイレ（身障者用）清掃に問題がある。清掃時の散水によりトイレットペーパーがずぶ濡れになっていて使用できなかった。日にちは 12 月 23 日で、写真もあります。
（事務局）
管理者に確認します。
管理者が変わることで年度当初は受付等の対応でバタバタしていたが、細かなところにも目が行き届いていると褒め言葉も頂いています。屋外施設の管理についての要望もあるが、芝生、植栽管理についてはこれまでに比べて機能向上しています。
（委員）
昨年までは落ち葉が多かったが、綺麗になっています。

（会長）
　指定管理者のＫＧＩグループは企業の頭文字を合わせたものであると思うが、それぞれが上手く役割を果たしているようです。
（委員）
　色々な施設を訪れる機会があるが、トイレ管理が行き届いている施設は概ね管理も行き届いています。
（会長）
　スポーツ施設はトイレや更衣室が綺麗であると、とても気持ちが良いものです。
（委員）
　笠原体育館を使用することが多いが、更衣室にエアコンが設置されておりシャワーを浴びた後、快適に着替えて次の業務が出来ました。また、故障していたタイマーが予算化されていてありがたい。古い備品が多いので計画的な整備をお願いします。
（委員）
　学校の体育館照明がよく切れます。年度末なので予算が無いのか切れたままです。学校、教育委員会で交換するのか文化スポーツ課で交換するのかわかりませんが、競技によっては支障があります。
（事務局）
　水銀灯の照明はよく切れます。足場を組む費用の方が高額になるため、３つ以上の電球が切れた場合を除き、毎年卒業式前に一斉に交換しています。
　将来的にＬＥＤ化が進めば照明切れも少なくなります。一方で照明の交換工事には多額の費用が掛かることになります。
（会長）
　指定管理者の評価についてはどのようになっていますか。
（事務局）
　昨年 11 月、点数は付けないものの中間評価を行っています。
（会長）
　次回評価時には先程の意見を反映させてください。
（事務局）
　現指定管理者は専門分業制であり一体感の醸成には至ってない部分もあるので、引き続き連携して管理をするように指導します。
（会長）
　マレットゴルフ場も指定管理ですが、今後、施設廃止もありきと聞いています。
（事務局）
　先月、廃止も視野に入れたパブリックコメントを行い、指定管理者への説明も行い意見を伺っています。

議題２．平成 29 年度スポーツ事業計画（案）

事務局説明

（会長）
１年間を通しての計画ということです。名称変更等はあるようですが、内容的に大きな変更はなく例年通りということです。ご意見が無いようですので次の議題へ進みます。

議題３．スポーツサポーター登録制度（案）

事務局説明

（会長）
概要版と要綱案を用意していただいています。これを基にご意見をお願いします。
（委員）
学生も対象となっているのであれば、勤務先に学校名を加えてください。
（委員）
中学校の保健体育の教科書にスポーツの参加の仕方についてのページがあり「ささえる」というものがあります。現場にいると「ささえる」という情報が入ってこないのでこのような制度が出来ると良いと思います。
国体開催時に教育委員会にて役員で参加しましたが、県外からサポーター、ボランティアがお越しになり社会的関心も高いので、広めていただけると生徒の活躍する場面が増えます。ボランティアからスポーツに関わるとその景色も違って見えるので賛成します。
（事務局）
募集にあたっては多治見市民に限定していません。多治見市のスポーツを支えてくださる方を広く受け付けたいと考えています。
お話に出た国体の時には３００名を超えるボランティアに参加いただきましたが、国体に限定した募集でしたので白紙の状態です。
（会長）
例えば学生に資料を配布して募集を行えば登録できるということになりますね。小さい子どもは大学生、高校生のお兄ちゃんお姉ちゃん達と触れ合うのがとても嬉しいので、スポーツの場面に限らずそういう機会を増やせるといいですね。
（事務局）
是非、お願いします。
（委員）
仮に登録した場合、研修などは行われますか。
（事務局）
登録時期がバラバラにつき登録段階での研修は考えていませんが、一定の時期に研修会の開催を考えています。
例えば生涯スポーツセミナー等の案内も考えています。
（会長）
時期的にはいつからのスタートを想定していますか。

（事務局）
４月以降に制度を整備し年度半ばのスタートを考えています。
（委員）
併せて要綱の文章、文言の整理をお願いします。
費用弁償についてはどのようにお考えですか。
（事務局）
大会、イベントがお昼を跨ぐ場合は昼食を用意するなど臨機応変に考えていますが、交通費は見込んでいません。但し、市が主催者ではない大会やイベントの予算に交通費が予算化されているものを拒むものではありません。
（会長）
他にご意見は無いようですので次の議題に移ります。

議題４．多治見市トップアスリート強化選手指定について
事務局説明

（委員）
体育協会に強化指定補助事業というものがありますが、各協会の強化策をプレゼンしています。団体、個人ともそこを参考にして進めていかれてはどうでしょうか。
（委員）
昨日、体育協会の会議でもその話が議論されました。結論はハッキリ出ませんでしたが、既にトップアスリートになった人を支援するのではなく、トップアスリートを作る支援が望ましいので、これからの選手にお金を掛けるべきではないでしょうか。
また、本市では幼少期から小学４年生までの運動能力が低いと言われているので、そういった層に注力していくことが望ましいという意見も出ました。
トップアスリート強化指定ではなく、育成の方が制度として馴染みやすいでしょう。
（会長）
育成の方が取り組みやすいと言えるでしょう。国が支援するトップアスリート層ではなく育成に力を入れる発想は良いと思います。但し、象徴になるようなトップアスリートが居たり出てくると育成に大きく繋がる事実があります。
多目的にスポーツをやらせてその中から適したスポーツを見い出す手法もありますが、逆に幅広くやらせてぼやけてしまうこともあります。
また、いくつかの柱を立ててやっていく方法もあります。大会を見定めてそれに向けて育成していくこともありますが、小学生時には全国大会を止めようという議論が毎年なされますし、現実にアメリカでは開催されていません。考え方は色々あります。
（事務局）
本日、議題に挙げさせていただきましたが、本来であれば資料を用意して審議していただくところです。現段階では手探りの状態ですので再検討して改めて諮らせていただきます。

（会長）
全体として他に質問も無い様なのでこれにて議事を終了します。

◆２０時１０分閉会